

カラービットコードを応用したトレーサビリティ技術展開 開発メーカーのビーコア㈱と契約

住友スリーエム㈱では、色の配列・組み合わせによる自動認識コード、カラービットコードを開発したビーコア株式会社(本社:東京都千代田区 社長:漢人 邦夫)と製品開発に関する契約をこのほど締結し、セキュリティおよびトレーサビリティ部門の製品に活用するための検討を開始することで合意しました。

カラービットコードとは、ビーコアが独自に開発した色の配列・組み合わせを使った自動認識コードです。バーコードや二次元コードがゆがみやボケに弱いという点や、場所に制約があるなどに比べ、色さえ認識できれば解読できるという新しい発想のコードです。

ビーコアは2006年4月に設立されたベンチャー企業で、世界初のカラービットコードを開発し、特許を取得。さまざまな用途を提案しています。

<カラービットコード紹介画像>



今回の合意により、住友スリーエムの多岐にわたる技術とビーコアが開発した形状やサイズに制約されないユニークな自動認識コードであるカラービットコードを組み合わせることで製品やシステムに応用することにより、さまざまな分野で新しいトレーサビリティソリューションを提供できると期待しています。既存のバーコードやICタグが利用困難な金属に近い箇所や狭小な場所での用途開発が見込まれております。市場としては流通、セキュリティ関連、自動車・交通など広範な分野での応用が考えられます。

住友スリーエムのセキュリティおよびトレーサビリティ部門は、図書館管理用の無断持出防止装置や自動貸出返却装置を全国の大学や公共図書館に2,200台以上納入しており、最近ではRFIDを応用したシステムの充実に努めております。またサプライチェーンの実行系ソフトウェアの本格的展開を開始しております。

・カラービットは、ビーコア㈱の登録商標です。